

家庭学習の手引き

おうちの方へ

家庭学習は、学校で学習したことをしっかりと身に付けるために、また、自ら学ぶ習慣を身に付けるためにとても大切なものです。小学生のうちに机に向かう習慣を付けておくことが、のちに大きな力となります。学校と家庭とで連携、望ましい学習習慣を身に付けていきましょう。



- (1) 5・6年生の学習の特徴
 - 学習内容が多くなり、論理的な内容や抽象的な思考を伴う学習が増えます。
 - 筋道を立てて考える力や広い視野で物事を見る力が必要になります。
 - 自ら学ぶことの楽しさ、面白さを経験することで、ものの見方や考え方を深めることができます。
- (2) 低学年のときは、おうちの方の支援が学習の習慣付けや意欲付けに大きく影響します。中学年、高学年と、学年が上がるにつれて自分で学習することができるように、少しずつ手を離して行ってほしいと思います。ただ、手を離しても目を離さず、お子様のがんばりに対する励ましの声かけをお願いします。
- (3) 塾や習い事、スポーツ等、お子様もいろいろと予定があると思いますが、短い時間でも必ず机に向かう習慣を付けることができるとよいと思います。学習する時間を家庭でよく話し合っ、無理のないように設定してください。
- (4) 学習するための環境づくりを意識しましょう。例えば、テレビをつけながら勉強しては、学習内容が身に付きません。テレビやインターネット、ゲーム、携帯電話などのルールを家庭で決めることと合わせて、お子様が落ち着いた環境で学習できるように工夫したり、話し合ったりしましょう。
- (5) お子様の学習の様子について、何か気になることがありましたら、担任までお知らせください。

※ 右の内容につきましては、お子様にも配付しています。家庭学習の際の参考にしてください。

目標

- 毎日60分（5年生）、70分（6年生）がんばって学習しましょう。（時計を見て始めましょう。）
- 学習習慣を確実に身に付けましょう。
- 自分にあった自主的な学習にも取り組みましょう。



～こんな内容を、こんなやり方でやってみよう～

学習内容	やり方
① 漢字練習	 <ul style="list-style-type: none"> ・漢字を漢字ノートや自主学習ノートに正しい書き順で書いてみます。 ・その漢字が書けるようになったか、自分でテストをしてみましょう。練習で書いただけでは覚えていないこともあります。
② 音読・黙読練習	 <ul style="list-style-type: none"> ・音読は、脳を発達させるためにとても効果があると言われています。読み方を工夫することで、さらに脳を使い、レベルアップすることでしょう。まわりの様子や登場人物の気持ちを考えながら音読してみましょう。 ・集中して読書をするのもいいですね。
③ 算数の問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ドリル学習をくり返しおこないましょう。授業で勉強した教科書の問題にもう一度挑戦し、できるようになっているかどうかをチェックしましょう。
④ 理科・社会の確認学習	<ul style="list-style-type: none"> ・その日学校で学習したことをもう一度自主学習ノートにまとめてみてください。 ・赤・青えんぴつを使って大切なところを見やすくすると、さらにまとめることが楽しくなります。
⑤ 読書	<ul style="list-style-type: none"> ・週に1回は読書も取り入れましょう。
⑥ さらに挑戦	 <ul style="list-style-type: none"> ・自分でやってみたい学習をします。ノートなどにやり、先生に提出してください。 ・本屋さんに売っている問題集やドリル、通信教材などに、計画的に取り組んでみましょう。必ず、丸付けをして確認することが大切です。 ・そのほか、リコーダーやなわとび、英語の学習やタブレットを使った学習などもいいですね。

家庭学習の後に・・・

- ◎ しっかり学習できたか振り返ってみよう。（時間は？内容は？姿勢は？）
- ◎ 取り組んだ学習内容と時間を家庭学習カードに記入しよう。
- ◎ 時間割を確かめて明日の準備をしよう。
- ◎ 机の上を片付けよう。